

解 答 入 り

しゅうと

受身・連体

むこ

しゅうとめ

受身・連体

① ありがたきもの。舅いもうとにほめほめらるるらるる婿むこ。また、姑いそに思はるるおぼる嫁よめの

しろかね

しゅう

ずさ

君。毛のよく抜くる銀ぎんの毛抜けぬき。主しゅそしらしぬぬ従者じゆうじや。② つゆつゆの癖くせな

打消・連体

き。

かたち

ふ

容貌ようぼう、心ありさま、すぐれ、世に経へるほど、③ いささかの④ 疵きずな

ひま

き。同じ所に住む人の、⑤ かたみに恥ぢかはし、いささかの⑥ 隙ひまな

完了か存続・終止

打消・連体

く用意しよういたりたりと思ふが、⑦ つひに見えぬぬこそかたけれけれ。

打消・連体

物語、集など書き写すに、本に墨つけぬぬ。よき草子くさこなどは⑧ い

婉曲・已然

みじうみじう⑨ 心して書けど、必ずこそきたなげになるめれめれ。

打消意志・連用

男女をば言はじじ、女むすめ⑩ ども、⑪ 契り深くて⑫ 語らふ人の、末ま
で仲良き人、かたし。

☆この話に出てくる古文の法則名を答えなさい。また、どこに出
てきているか印をつけなさい。… (係り結び) の法則

(① めったにない)もの。舅に褒め(られる)婿。また、姑にかわいがら(れる)お嫁さん。毛のよく抜ける銀の毛抜き。主人の悪口を言わ(ない)従者。(② 全く)癖のない人。

容貌、気立て、(それらが)よくて、世間を過ごすうちに、

(③ 少し)の(④ 欠点)もない人。同じ所に宮仕えして
いる人で、(⑤ お互いに)遠慮し合って、(③ 少し)の

(⑥ 油断)もなくて気配りしていると思われるその人が、

(⑦ 最後)まで欠点が見え(ない)ということのはめったにない。

物語や歌集などを書き写す時に、(元の)本に墨をつけ(ない)

こと。立派な草子などは(⑧ たいそう)(⑨ 注意)して
書き写すけれど、必ず汚らしくなる(ようだ)。

男女の仲は今さら言う(まい)、女性(⑩ 同士)であつても、深い(⑫ 縁)で(⑬ 親しく付き合)っている人で、
最後まで仲のよい人は、めったにいない。

☆No.1のプリントの単語と穴埋めの単語番号はリンクしています。

それ以外の所は、教科書のP354く355を見て穴埋めしました
よう。

☆あなたにとって「ありがたきもの」を三つ挙げなさい。

めったにないものを挙げる